

令和 2(2020)年 6 月吉日

〇〇 病院(老人介護保険施設・・・)
病院長 様(理事長 様)
感染管理担当者 様
新型コロナウイルス感染症と戦っている皆様

一般社団法人職業感染制御研究会
理事及び会員一同

メディカル仕様のサージカルマスクの寄贈について

新型コロナウイルス感染症の流行に際し、患者の命を救うため最前線で戦っていらっしゃる皆様に心から感謝申し上げます。

このたび、一般社団法人職業感染制御研究会では、クラウドファンディング「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金(<https://readyfor.jp/projects/covid19-relief-fund>)」を通じて全国から寄せられた寄付金より 1,000 万円の助成をうけ、当研究会の法人会員を通じた独自の海外ルートから 20 万枚のメディカル仕様のサージカルマスク(医療用サージカルマスク規格 EN14683 type II R 認証製品)を入手することができました。これらを全国 26 か所の地域の砦として高度医療を担う医療機関および、喫緊で新型コロナウイルス感染症対応に尽力され、特に个人防护具の入手に困難を来しているとの情報を得た、地域の介護福祉にかかわる法人等に寄贈いたします(※)。

新型コロナウイルス感染症流行により、治療および感染防止策に必須の个人防护具(PPE)が不足し、国際流通価格が通常の 10 倍以上に高騰し入手が困難な状況です。そのような中、顔の見えないなかでもクラウドファンด์はじめ、様々な支援の輪が広がっていることは今後の長期戦においてもとても大事なことだと私たちは考えています。

今回寄贈させていただくサージカルマスクは、職員が適切な感染管理を行なった場合、数日～数週間分の数量にしかありませんが、その数日、数時間、いえ数分の時間を惜しんで、貴施設が新型コロナウイルスと戦っていることを、私達は知っています。職員一人が手にするのは数枚かもしれませんが、このメディカル仕様の品質の確かなサージカルマスクがたった一枚増えただけでも、そのマスクが職員を救うことになるかもしれないことを、私達は知っています。感染管理のための个人防护具は、医療と介護の安全性を支えます。僅かなサージカルマスクであっても、そのマスクが院内・施設内感染を防止できることを、私達は知っています。

未曾有の災害の中でも、職業感染管理の水準を保ちながら、医療・介護従事者の安全と健康が確保されることを願ってやみません。全国の人々が、あなただけでなく、ご家族やあなた方を支えている方々に心から感謝しています。これからも、安全と健康最優先でのご活躍を願ってやみません。※もし、貴施設が連携している感染症指定医療機関や病院・診療所等で、貴施設よりもサージカルマスク不足が深刻な場合、その施設に再寄贈する事など、ご自由にご活用ください。

連絡先(問い合わせ先)：

一般社団法人職業感染制御研究会(<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>)

事務局 jrgoicp@gmail.com (担当 村上)

今回の Contributor：

○職業感染制御研究会理事・監事(森屋恭爾、賀来満夫、満田年宏、吉川徹、飯沼由嗣、國島広之、黒須一見、細見由美子、四柳宏、網中眞由美)及び会員、研究会事務局(村上洋子)

○今回の个人防护具の調達に協力していただいた法人会員(草場恒樹)

以上